

せのお病院だより



新年度のご挨拶

副院長 森末 真八

この度、副院長に就任致しましたのでご挨拶申し上げます。

私は平成17年に内科医長として、せのお病院に赴任致しました。前任の姫路赤十字病院では消化器内科を専門としていましたが、現在は内科全般にわたる診療を行っています。私は嘗て、外科医として主に消化器領域の手術治療に携わっていました。平成6年に勤務していた病院が震災で倒壊し、その後、縁あって高齢者施設を併設した病院に赴任することになりました。そこで内科疾患の診療に関わる機会をいただき、自分自身の目指す医師像を見つめ直した結果、内科医を志すことになりました。いささか臺の立った新人ではありましたが、平成13年に岡山大学第一内科で研修をスタート致しました。それから10余年、前院長の前田幸夫先生はじめ多くの先輩、同僚の先生方の御指導を得て何とか職責を果たして参りました。まだまだ至らぬところはありますが、今後も微力ながら精進していきたいと思っております。

また、この機会に普段お世話になっている近隣の医療機関の皆様方、せのお病院を応援してくださった地域の方々には厚く御礼申し上げます。せのお病院は新しくなった市民病院と連携して、より一層地域の皆様から信頼される病院となれるように職員一丸となって頑張っておりますので、どうぞ宜しくお願い申し上げます。

基本理念

心

心の通い合う医療の提供

技

質の高い安全な医療の提供

体

健康で自立した経営、働きやすい職場環境

【新職員紹介】

せのお病院に4月から新たに加わりました新任職員を紹介いたします。

医師



診療部長 前川清明

2016年4月1日からせのお病院で勤務しています。内科一般を担当していますが、専門は循環器内科（心臓）です。当院でも内科一般の診察に加えて心臓病の診療にも力をいれたいと思っています。よろしくお願いいたします。

看護師



(写真左より) 病棟看護師長 平井貴子、看護師 福原美和

4月1日付けで岡山市立市民病院より異動して参りました看護師の平井と福原です。病院前の桜並木を見た時、「地域の皆様と共に歩んでいる病院」だなと実感しました。これからも、皆様に「信頼される病院」を目指して頑張りたいと思います。よろしくお願いいたします。

4月1日付で市民病院からこちらに配属されました放射線科の技師長補佐の榎崎博です。

検査の流れ、不慣れなMRI検査等で戸惑っていますが、少しでも早く習得したいと思っています。

何かとご迷惑をおかけすると思いますが、今後ともよろしくお願いいたします。

岡山市立市民病院から薬剤師2名が転動して参りました。坪井は、2001年10月から3年9か月こちらでお世話になりました。2回目の登場です。当時と変わらない環境の中で頑張りたいと思います。水野は初めての環境変化で戸惑いもありますが、皆様のお役に立てるよう頑張りたいと思います。気軽に声をかけてください。よろしくお願いいたします。

放射線科・検査科・薬剤科



(写真左より) 薬剤科長補佐 坪井浩三、診療放射線技師長補佐 榎崎博 副主任臨床検査技師 茅田善照、主任薬剤師 水野由紀子

事務局



(写真左より) 医療ソーシャルワーカー 矢敷英太郎、事務長 小倉仁司、主事 出原慈子、用務員 森本恭裕

初めまして。この4月から配属されました医療ソーシャルワーカーの矢敷と申します。あまり聞きなれない職種かもしれませんが、医療ソーシャルワーカーは、病気やケガなどによって起こる問題に対し、社会資源（医療・福祉・介護の制度等）の活用や関係機関と連携し、その人らしい生活が送れるように支援する専門職です。

ご相談がありましたら、お気軽に声をかけて頂ければと思います。よろしくお願いいたします。

はっ 健康一口メモ

お薬手帳 使ってますか？

薬は正しく服用すれば病気の回復を助けてくれますが、使い方を誤ったり、飲み合わせを間違えると、大きな事故につながる場合があります。それを防ぐための重要なアイテムがおくすり手帳です。

おくすり手帳は飲んでいるお薬が「他の医療機関から処方された薬との飲み合わせは問題ないか」「以前にのんだ薬で副作用が出たものはないか」といったこと確認する時に役に立ちます。持病があり、定期的に薬を服用している人やアレルギーがある人などは、自分の身を守るためにおくすり手帳を持つことをお勧めします。

- 今までの服用履歴をまとめておく。
- アレルギーの有無、過去に飲んだ薬による副作用を記入する。
- ふだんよく使う市販薬やサプリメントなどや接種したワクチンも記入しておく。

上記のことが記載されていると、医師や薬剤師にお薬の情報を適切に伝えることができ、事故を防ぐことができます。旅先で体調を崩して、現地の医療機関にかかった場合も、おくすり手帳を持っていれば、ふだん服用している薬がわかり、適切な治療も受けられます。また、東日本大震災では、おくすり手帳を持っていた人は避難所での治療や薬の処方もスムーズに受けられ、患者も医療者もその存在の有難さを実感したそうです。

かかりつけ医に受診する時はもちろん、新しく医療機関を受診する時、外出時いつも携帯する習慣をつけてはいかがでしょうか (*'▽')



せのお病院糖尿病友の会「糖友会」のお知らせ

「糖友会」は患者さんとそのご家族へ、より充実した生活を病気に負けないで送ってほしいという願いから、糖尿病患者とその家族、せのお病院の看護師、栄養士などの医療スタッフで組織されている会です。

「糖友会」の年会費は2400円で、全国の糖尿病友の会組織である「日本糖尿病協会」に同時に加入でき、糖尿病治療に役立つ月刊情報誌「さかえ」を無料で購読することができます。また年2回（春・秋）半日の日程でウォーキング会を開催しています。

例年春は県南病院合同の「後楽園ウォークラリー」に参加していますが、今春は残念ながら天候不良で中止となりました。昨秋は10月に玉野市「深山公園」をウォーキングしました。今年も10月ごろに開催予定です。日程および参加方法についての詳細は10月初旬に病院内に掲示します。「糖友会」へのご加入を希望される方は、せのお病院外来看護師へお尋ね下さい。

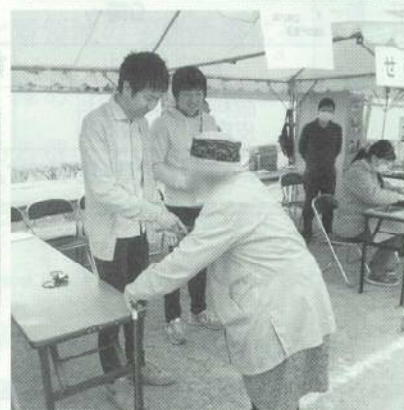


ふるさとさくら祭 参加

4月3日（日）妹尾公園一帯で行われた「妹尾・箕島ふるさとさくら祭」に参加しました。金曜日には、まだ一部咲きであった桜の花も当日は満開の花・花・花でした。院内からは、看護師・コメディカル・事務と、津下院長、森末副院長などが参加しました。今回は、①体力測定・転倒予防相談、②飴ちゃんつかみ取りで参加しました。体力測定では、山本理学療法士が握力測定や開眼片足体力測定を行い、「年齢基準より良いですよ。これからも体力を維持して下さい。」と地域の方々に話しかけ、和やかな笑顔になって頂きました。

また、飴ちゃんつかみ取りでは、「お孫さんのお土産にいかがですか」「つかめる個数で若さを試してみませんか」の呼び掛けに挑戦されるおばあちゃん。かと思えば、小さなカワイイ子が精一杯、手のひらを開いて一生懸命に飴を取ろうとする姿にとても心が温まりました。

新年度を迎え、職員の入替わりがありました。チームワーク良く地域の方々と触れ合えた貴重な一日となりました。



せのお病院では妹尾公民館の共催により、市民の皆さんの健康を増進することを目指してせのお病院医師を始め医療スタッフが医療の知識についてお役立ていただこうと市民健康講座を開催しています。どうぞお気軽にご参加ください。

市民公開講座日程

場所：妹尾公民館2階 講座室
時間：15:30～16:30

	開催日	講師	テーマ
第33回市民健康講座	平成28年 6月3日(金)	市民病院・看護師 糖尿病看護認定看護師 安永 沙織	糖尿病について
第34回市民健康講座	平成28年 7月1日(金)	市民病院・救急外来師長 救急看護認定看護師 矢吹 頼子	熱中症について
第35回市民健康講座	平成28年 8月5日(金)	せのお病院 医療ソーシャルワーカー 矢敷 英太郎	介護保険について
第36回市民健康講座	平成28年 9月2日(金)	せのお病院 リハビリテーション技師長 大河 俊博	中高年のための運動 転倒予防

外来診療科一覧表

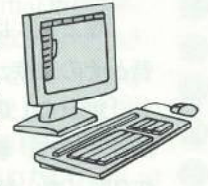
平成28年5月

		月	火	水	木	金	
内 科	午前	1診	岡 野	森 末	森 末	岡 野	
		2診	能 祖	岡 野	寺 見	前 川	
		3診	安 藤 (糖尿)				
	午後	1診	岡 野	森 末	前 川	岡 野	森 末
		2診	能 祖	片 山		前 川	前 川 (心不全)
外 科	午前	津 下	津 下	津 下	津 下	津 下	
	午後	津 下		(手術)	津 下		
整形外科	午前		楢 崎			木 浪	
眼 科	午後	坂 口			(岡大)		
耳鼻咽喉科	午後				(岡大)		
皮 膚 科	午後					川 上 第1・3週	
泌尿器科	午後					津 川 第2・4週	
検査・ドック		森 末		岡 野	岡 野	森 末	
		診察開始時間			受付時間		
午 前	9時～			8時30分～11時30分 (整形外科10時まで)			
午 後	内科・外科		1時30分～	1時～3時30分			
	眼科・耳鼻咽喉科 皮膚科・泌尿器科		2時～				

■ 整形外科を受診する際は紹介状が必要です。 ■ 平成28年5月時点の診療科一覧です。

ホームページのご紹介

せのお病院ではホームページに各科の紹介や診療案内など当院の情報を掲載しておりますのでご覧ください。トップページのお知らせに病院の最新情報を掲載していきます。



■ ホームページアドレス ■

<http://okayama-gmc.or.jp/senoo/>



外来診療科からのお知らせ

〔内科〕

- ・毎週水曜日に市民病院からお越しただいておりました浜原潤先生の当院での診療は3月末日で終了いたしました。
- ・4月から毎週水曜日午前市民病院の寺見隆宏先生の診療が始まりました。

〔整形外科〕

- ・毎週木曜日に市民病院からお越しただいておりました吉鷹輝仁先生の当院での診療は3月末日で終了いたしました。

〔皮膚科〕

- ・診療日が第1・第3金曜日の午後の月2回に変更になりました。



残薬について

病院や薬局で調剤され、患者さんに渡った薬のうち、飲み忘れや飲み残し、症状の変化により服用（使用）されなかった薬を「残薬」といいます。

平成25年厚生労働省の調査によると、薬局で残薬確認をした結果、残薬を有する患者さんのいた薬局は90.3%、医薬品が余ったことのある患者さんは55.6%でした。また、75歳以上の後期高齢者の飲み残し薬剤費は、年間475億円になると推計されています

(平成19年日本薬剤師会)。

残薬のある方は、病院・診療所を受診する時、あるいは薬局に処方せんを提出する時、医師・薬剤師にご相談ください。残薬の中に使用できる薬があれば、必要な日数だけ薬が処方されることになり、薬代の節約ひいてはムダな医療費の削減につながります。さらに薬の重複投与・相互作用（のみ合わせ）の確認や使用期限のチェックにもなります。

薬剤科 富田 美智雄

